

「生活意識に関するアンケート調査」(第17回)の結果

(はじめに)

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その1つの手法として、平成5年以降、全国20歳以上の個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに伺う一種の世論調査です。

(調査概要)

- ・調査実施期間：平成15年9月13日～9月23日
- ・調査対象：全国の20歳以上の個人
- ・標 本 数：4,000人(有効回答者数2,969人<有効回答率74.2%>)
- ・抽出方法：層化2段無作為抽出法
- ・調査方法：設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

1. 景況感等

(1) 景況感

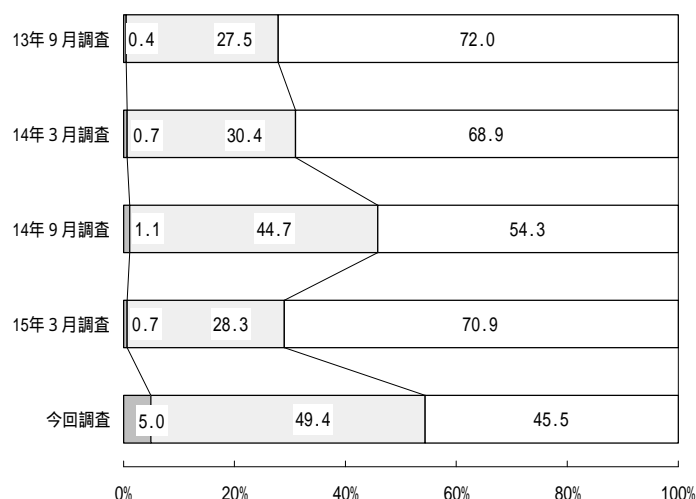
景況感（1年前対比）については、「悪くなっている」が減少し、「良くなっている」がやや増加した結果、D.I.（「良くなっている」－「悪くなっている」）は、前回調査に比べ改善した。

1年後までの先行きに関するD.I.（「良くなっていると思う」－「悪くなっていると思う」）も同様に改善した。

（図表1）景況感（％）〔問1、4〕

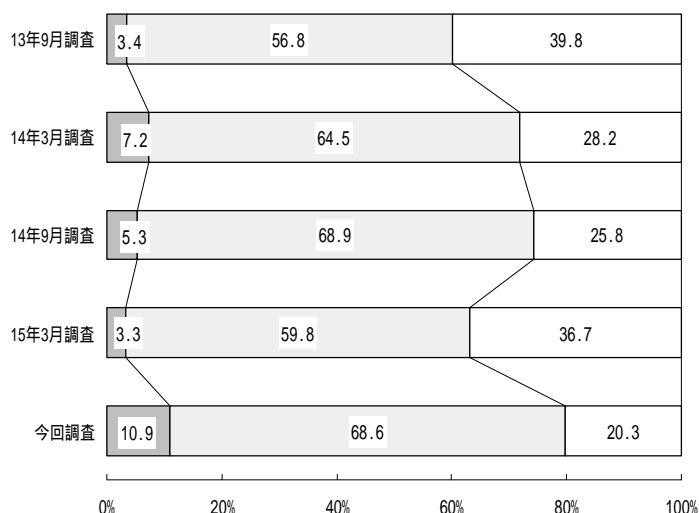
< 現在を1年前と比べると >

〔良くなっていると思う〕 〔変わらないと思う〕 〔悪くなっていると思う〕

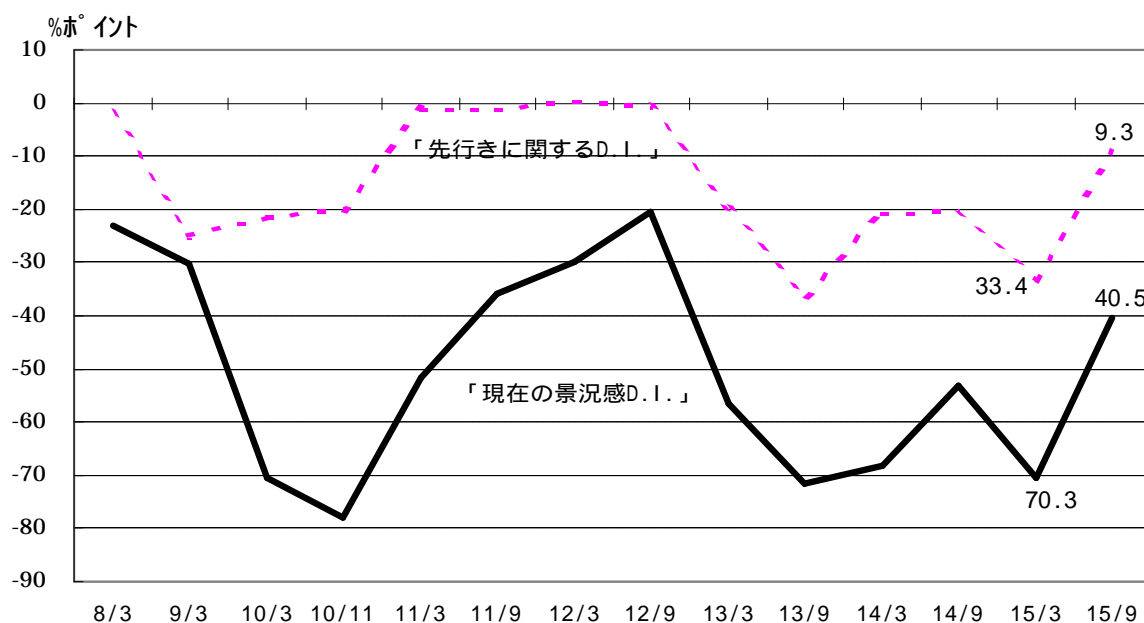


< 1年後を現在と比べると >

〔良くなっていると思う〕 〔変わらないと思う〕 〔悪くなっていると思う〕



< 景況感D.I.の推移 >

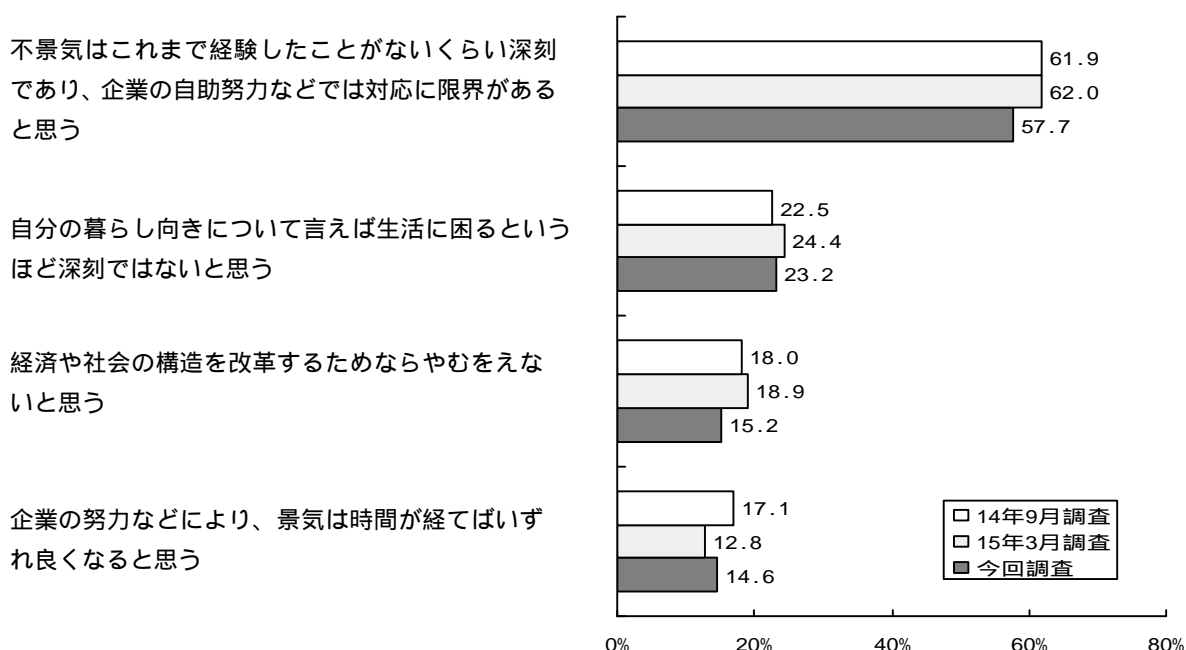


(2) 景気の受け止め方等

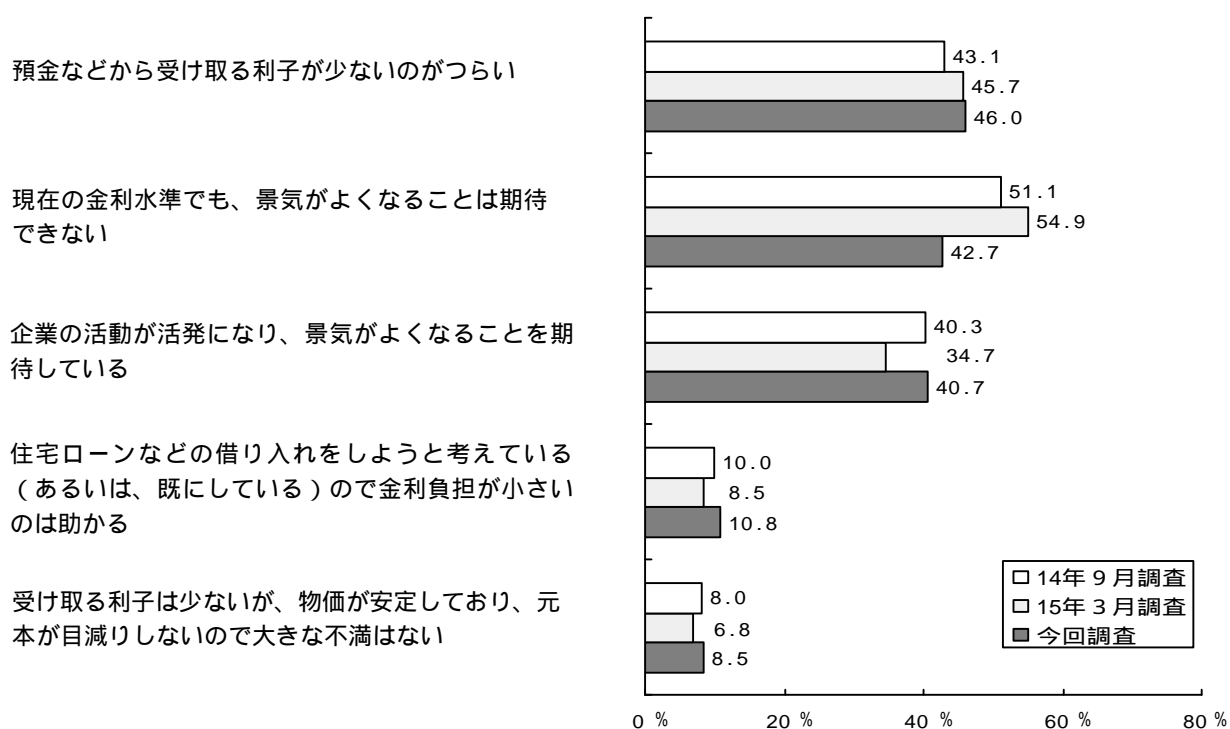
景気の受け止め方についてみると、「これまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う」との回答は依然として6割近くに達しているが、前回調査比ではやや減少した。

金利水準については、約半数が「利子が少ないのがつらい」と回答した。前回調査比では、「現在の金利水準でも、景気が良くなることは期待できない」との回答が減少し、「企業の活動が活発になり、景気が良くなることを期待している」が増加した。

(図表 2) 景気の受け止め方 (%、複数回答) [問 3]



(図表 3) 金利水準についての見方 (%、2 つまでの複数回答) [問 5]

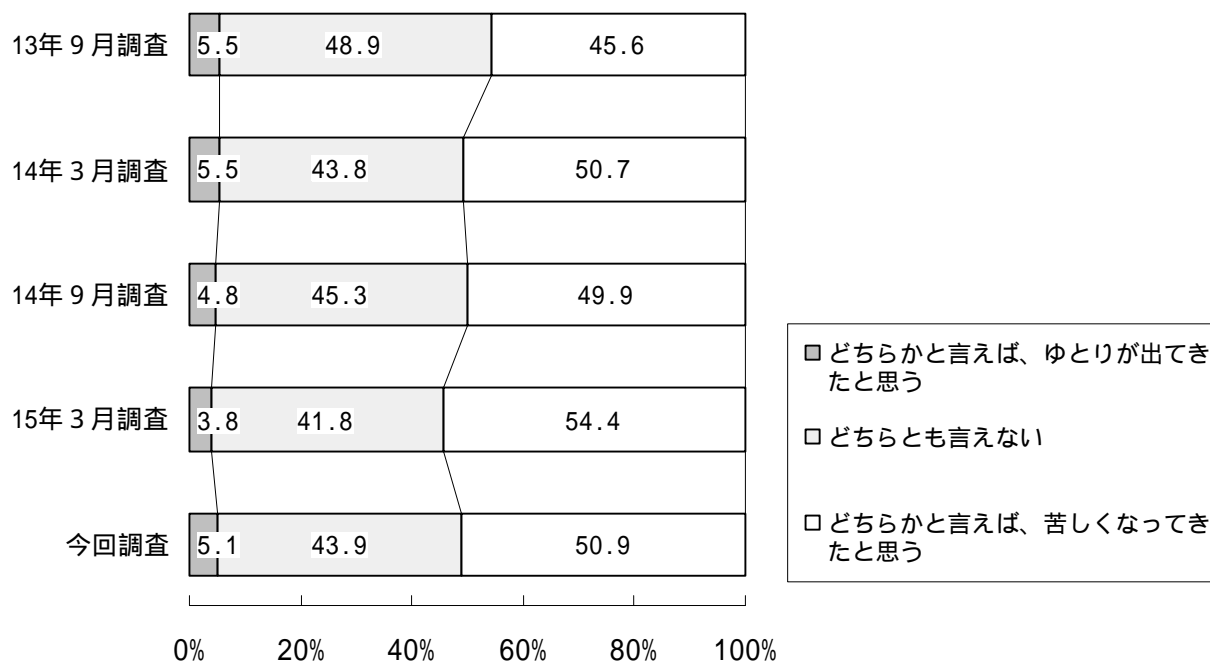


2.暮らし向き、消費意識

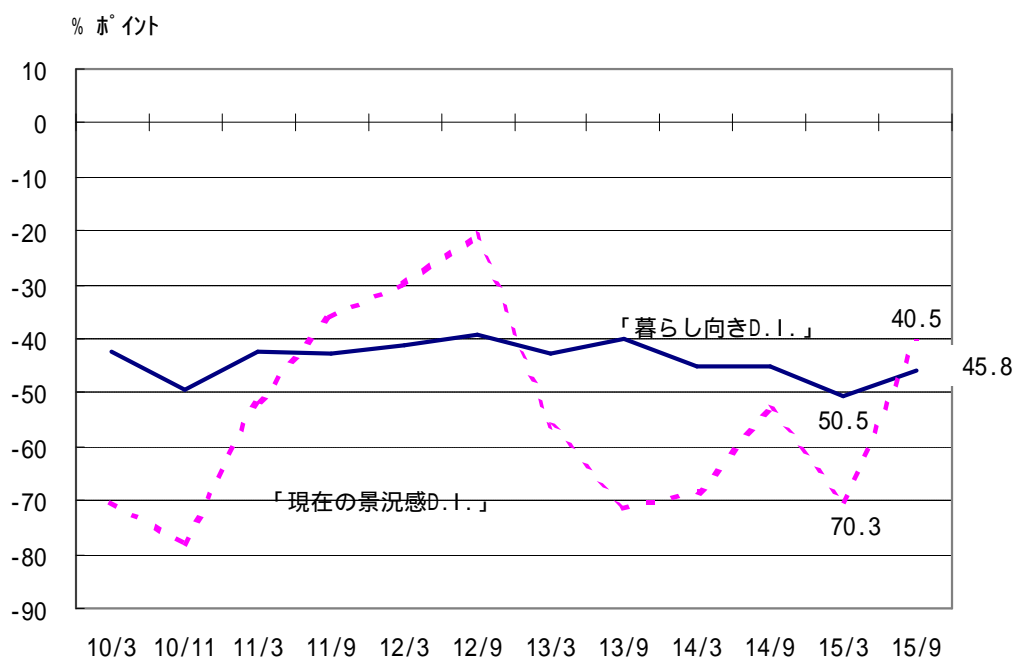
(1)現在の暮らし向き

暮らし向き（1年前対比）については、約半数が「苦しくなってきた」と回答したが、前回調査比では減少した。この結果、暮らし向きD.I.（「ゆとりが出てきた」－「苦しくなってきた」）は、「苦しくなってきた」超幅が調査開始以来最大となった前回調査比では若干改善した。

（図表4）現在の暮らし向き（％）〔問17〕



<暮らし向きD.I.の推移>

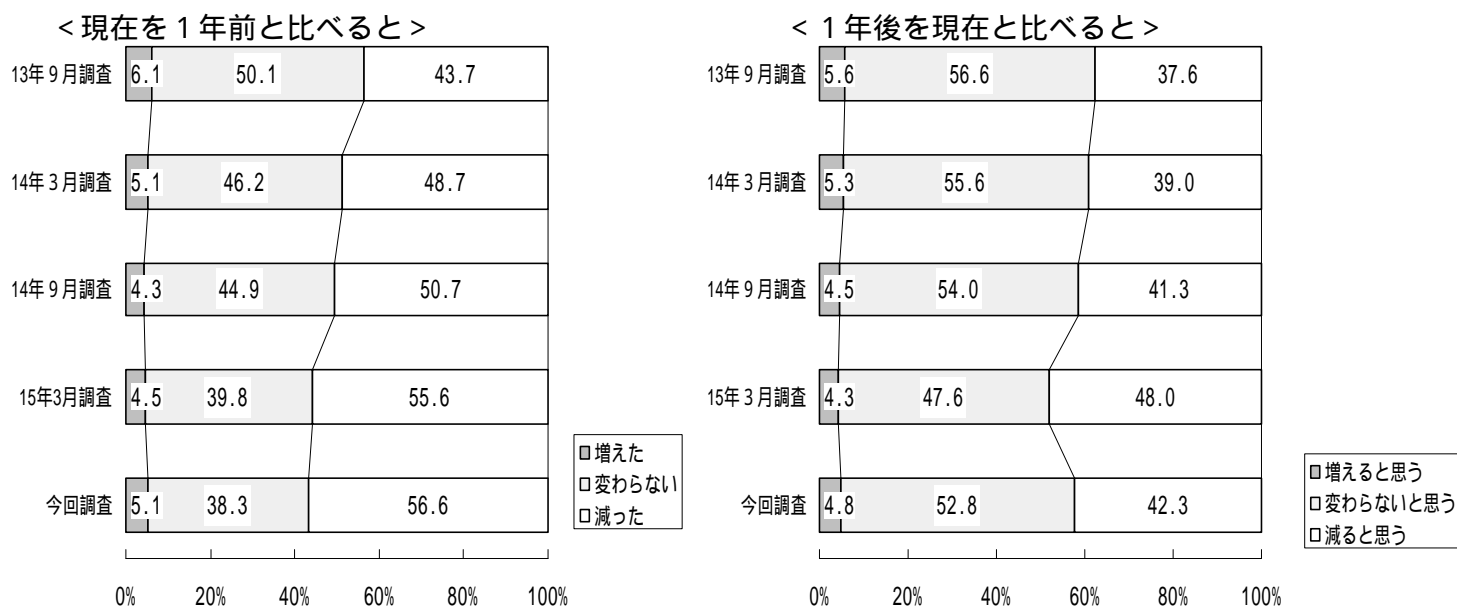


(2) 収入・支出

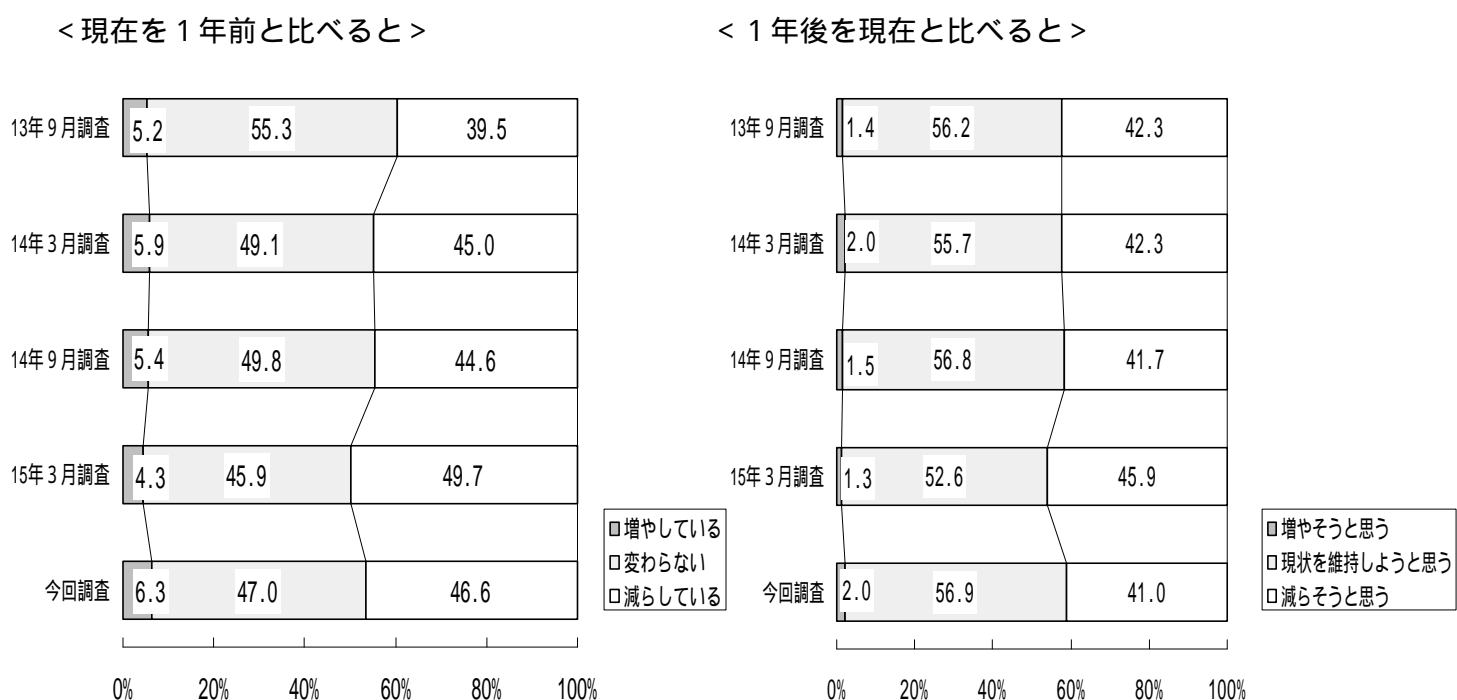
収入(1 年前対比)については、前回調査同様「減った」との回答が半数を超え、D.I.(「増えた」-「減った」)は、「減った」超幅(52%)が前回調査に続き調査開始以来最大となった。先行きについては、収入が「減ると思う」と回答した人が減少した。

支出(1 年前対比)については、約半数が「減らしている」と回答しているが、前回調査比ではやや減少。また、1 年後までの先行きについても、「減らそうと思う」との回答が減少した。

(図表 5) 収入(%)〔問 6、7〕

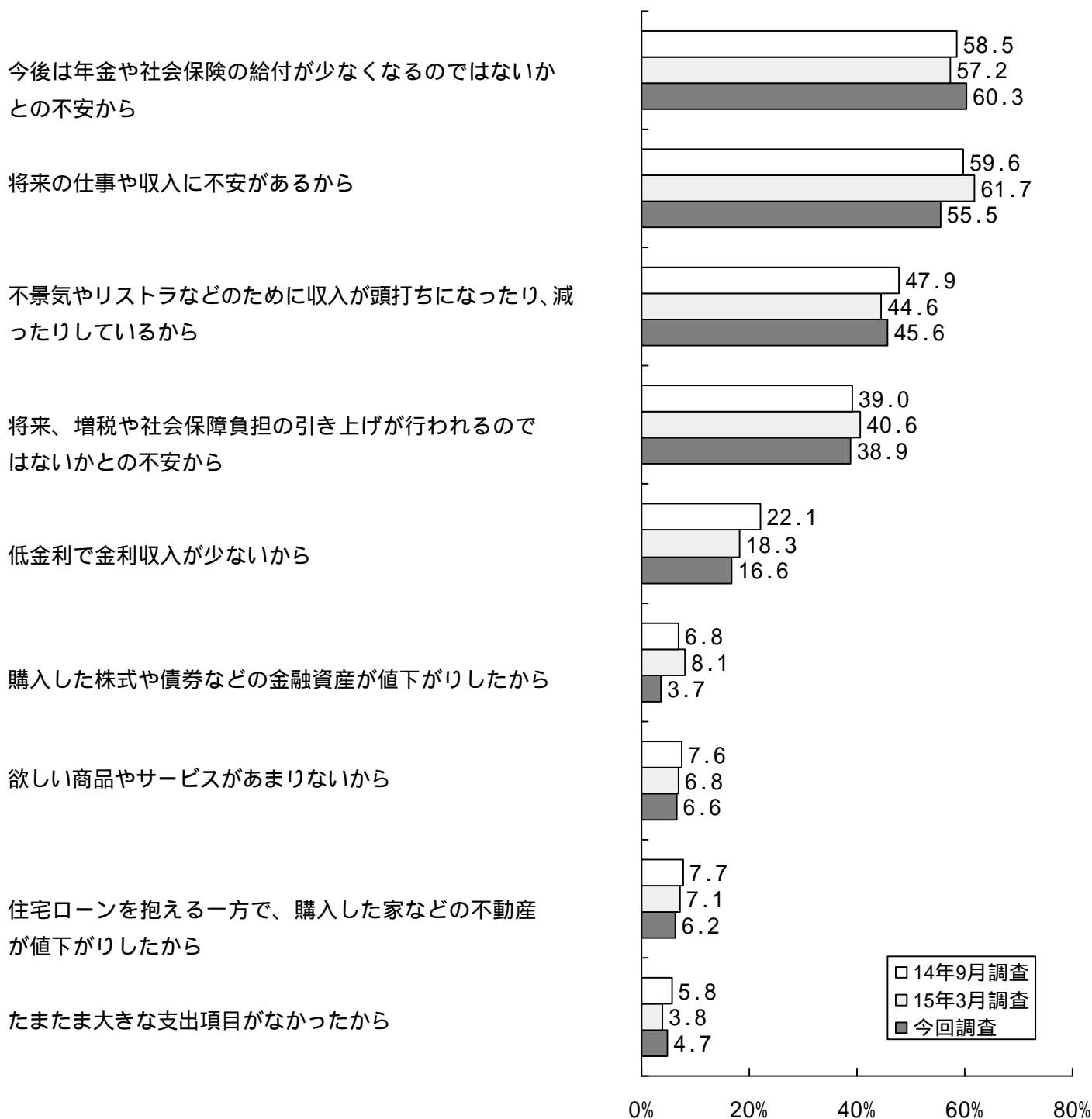


(図表 6) 支出(%)〔問 8、10〕



1年前に比べ支出を減らしたと回答した人にその理由を尋ねたところ、「将来の仕事や収入に不安があるから」との回答が減少し、「年金や社会保険の給付が少なくなるとの不安から」と回答した人の割合が最も高くなった。

(図表7) 支出を減らしている理由(%, 複数回答)[問8-b]

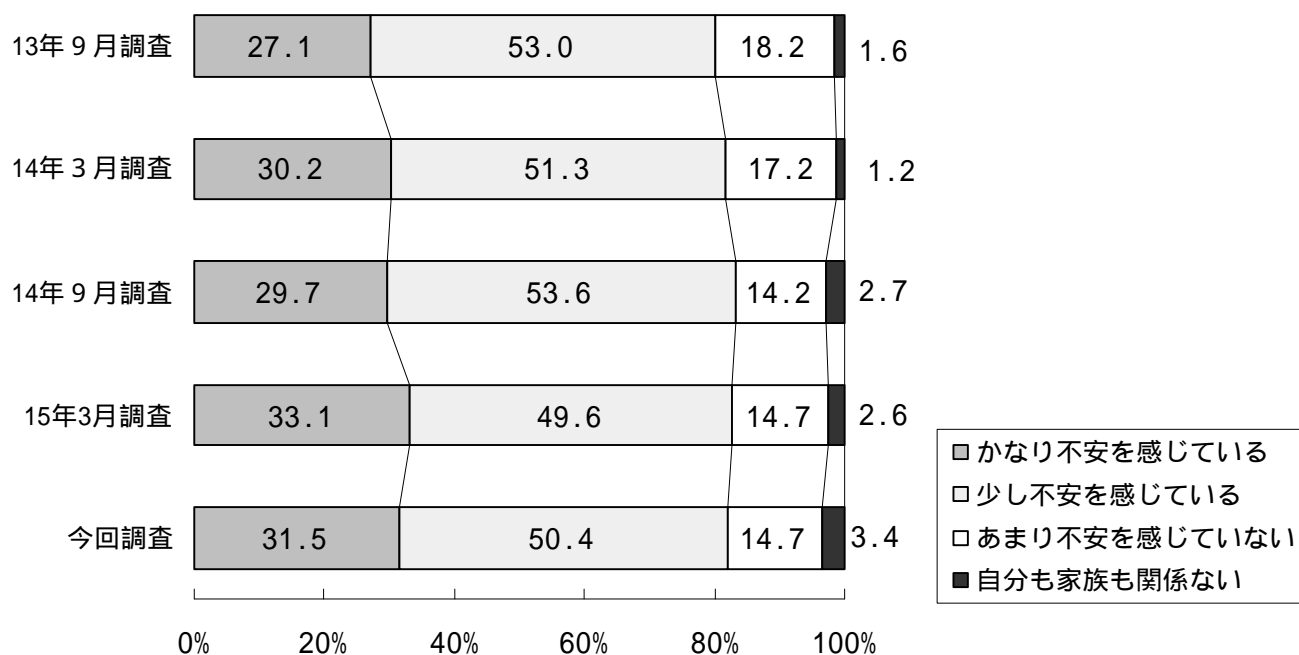


(3) 雇用環境

勤労者で勤め先の雇用・処遇については、引続き約 8 割が「不安を感じている」^(注)と回答している。

(注)『不安を感じている』は、「かなり不安を感じている」と「少し不安を感じている」の合計。

(図表 8) 勤め先での雇用・処遇についての不安 (%、勤労者) [問 20]



３．物価に対する実感

物価に対する実感(1 年前対比)は、「物価は下がっている」^(注)との回答が3 割弱へ低下し、「ほとんど変わっていない」が5 割超となった。

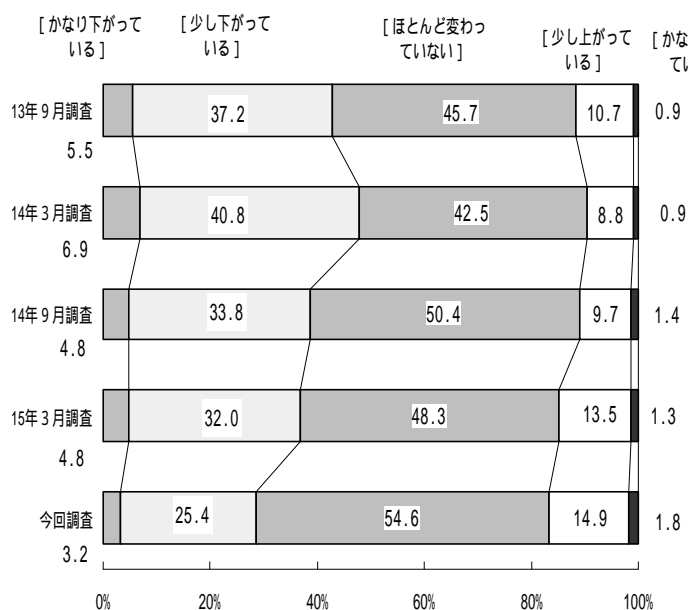
先行きについては、2 割強が「物価は上がる」、1 割弱が「下がる」との回答となった。

(注) 『物価は下がっている (下がる) 』は、「かなり下がっている (下がる) 」と「少し下がっている (下がる) 」の合計。

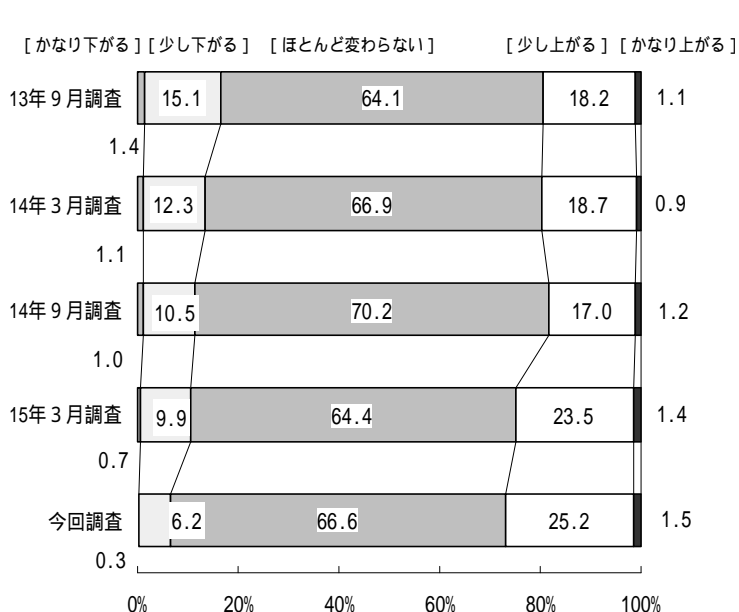
『物価は上がっている (上がる) 』は、「かなり上がっている (上がる) 」と「少し上がっている (上がる) 」の合計。

(図表 9) 物価に対する実感 (%) [問 13、15]

< 現在を 1 年前と比べると >



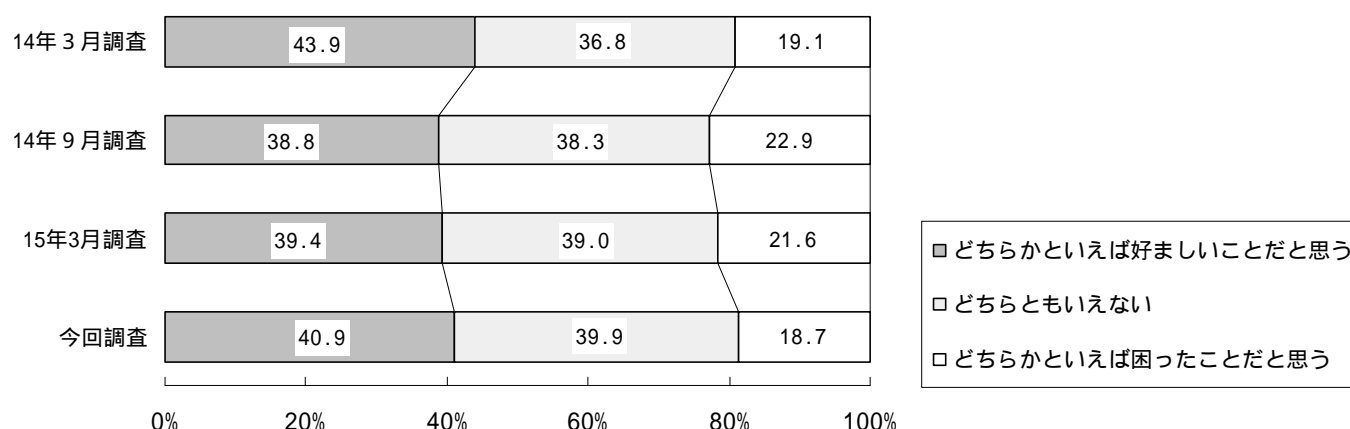
< 1 年後を現在と比べると >



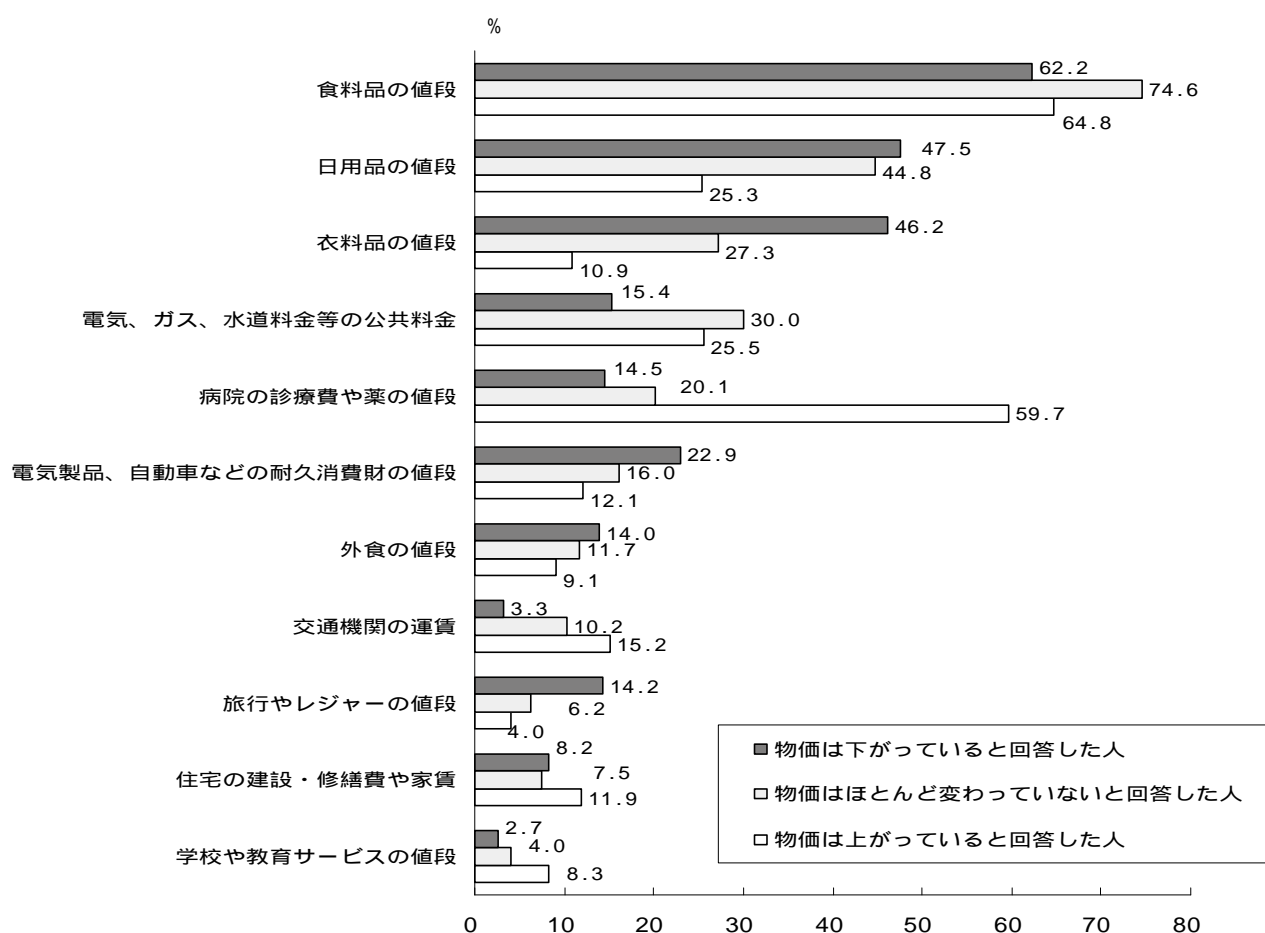
物価が下がっていることについては、「どちらかといえば困ったことだと思う」との回答が約2割、「どちらかといえば好ましいことだと思う」との回答は約4割となった。

物価を考える際にどのようなものの値段をイメージしたかについては、「物価は下がっている」と感じている人では、「食料品」、「日用品」、「衣料品」の値段が多い。一方、「物価は上がっている」と感じている人は、「物価は下がっている」と感じている人に比べ、「病院の診療費や薬の値段」、「交通機関の運賃」、「電気、ガス、水道料金等の公共料金」をイメージしている割合が大きい。

(図表10) 物価下落についての感想(%)〔問13-a〕



(図表11) 物価を考える際の具体的なイメージ(3つまでの複数回答、%)〔問14〕

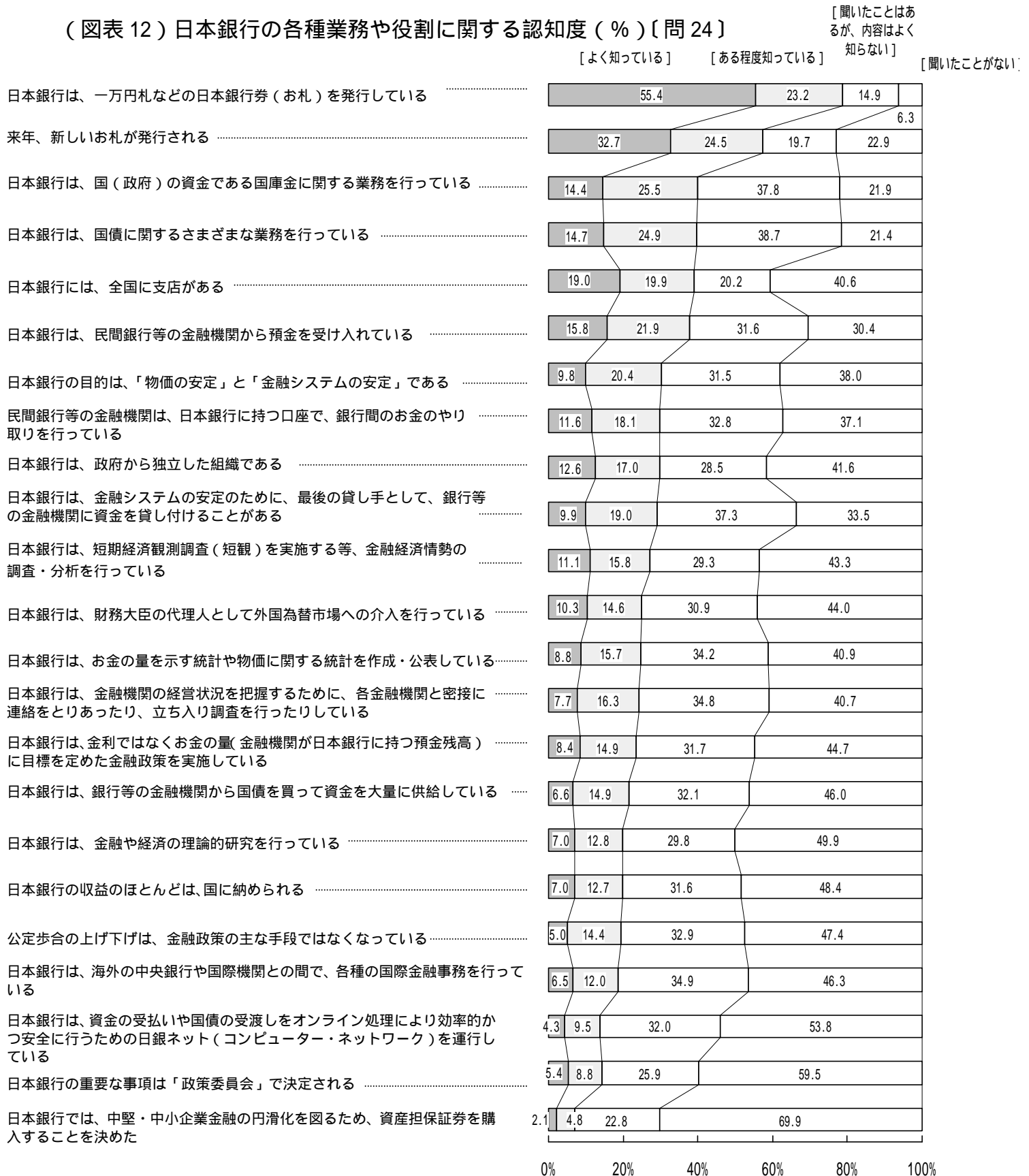


4．日本銀行に関する認知度、信頼度等

日本銀行の政策や業務などについて「知っている」^(注)との回答は、発券業務が8割弱、来年の銀行券改刷が6割弱、国庫・国債業務、金融機関との預金取引、支店関連が約4割となったほかは、それぞれ1～3割程度となった。

(注)『知っている』は、「よく知っている」と「ある程度知っている」の合計。

(図表12) 日本銀行の各種業務や役割に関する認知度(%)〔問24〕

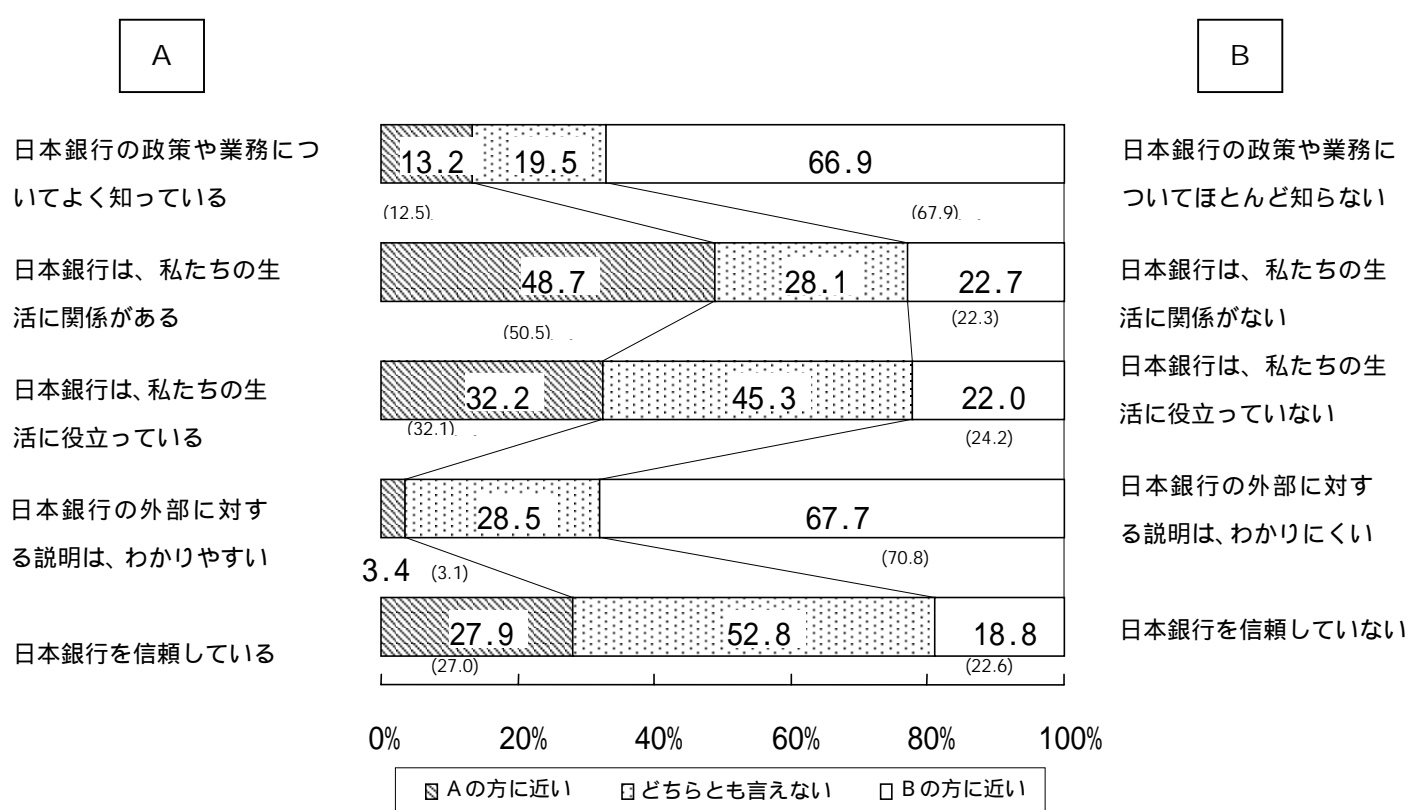


全体の7割弱の人が「日本銀行の政策や業務について知らない」、「日本銀行の外部に対する説明は、わかりにくい」と回答した。

「日本銀行は、私たちの生活に関係がある」との回答は約5割、「日本銀行は、私たちの生活に役立っている」との回答は約3割となった。

「日本銀行を信頼している」との回答は全体の3割弱、「信頼していない」との回答は2割弱となった。

(図表 13) 日本銀行に対する包括的な認知度や評価 (%)〔問 25〕



()内は前回調査(15年3月実施)の結果

(調査結果)

生活意識に関するアンケート調査 (第 17 回)

- ・ 選択肢ごとに付記した数値は、当該質問における回答対象者数を 100 とした時の各選択肢の回答比率 (単位 %、小数第 2 位以下四捨五入)。
- ・ 四捨五入の関係から、単数回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも 100 にならない

問 1 . 1 年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。 (は 1 つ)

(5.0)	(49.4)	(45.5)
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う

問 2 . そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。 (は 2 つまで)

(28.4) マスコミを通じて	(23.6) 商店街、盛り場等の混み具合をみて
(13.0) 景気関連指標、経済統計をみて	(6.9) なんとなく漠然と
(36.5) 勤め先や自分の店の経営状況から	(3.1) その他
(41.2) 自分や家族の収入の状況から	

(問 1 で「悪くなっていると思う」と答えた方にお聞きします)

問 3 . 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。 (はいくつでも)

(14.6) 企業の努力などにより、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う
(15.2) 経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う
(23.2) 自分の暮らし向きについて言えば生活に困ると言うほど深刻ではないと思う
(57.7) 不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う
(9.2) その他

(全員にお聞きします)

問 4 . 1 年後の景気は、現在と比べてどうなるとと思いますか。 (は 1 つ)

(10.9)	(68.6)	(20.3)
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う

問 5 . 現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。 (は 2 つまで)

(40.7) 企業の活動が活発になり、景気が良くなることを期待している
(42.7) 現在の金利水準でも、景気が良くなることは期待できない
(46.0) 預金などから受け取る利子が少ないのがつらい
(8.5) 受け取る利子は少ないが、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない
(10.8) 住宅ローンなどの借入れをしようと考えている (あるいは、既にしている) ので、金利負担が小さいのは助かる
(4.4) その他

問6．1年前と比べて、あなた（またはご家族）の収入はとなりましたか。（ は1つ）

(5.1)
増えた

(38.3)
変わらない

(56.6)
減った

問7．1年後のあなた（またはご家族）の収入は、現在と比べてどうなと思いますか。（ は1つ）

(4.8)
増えると思う

(52.8)
変わらないと思う

(42.3)
減ると思う

問8．1年前と比べて、あなた（またはご家族）の支出をどのようにしていますか。（ は1つ）

(6.3)
増やしている
↓

(47.0)
変わらない
→(問9へ)

(46.6)
減らしている
↓

問8-a．支出を増やしているのはなぜですか。
(はいくつでも)

- (14.0) 収入が増えているから
- (4.8) 将来、収入が増えると思込まれるから
- (2.7) 減税などに伴い、家計の負担が減少したから
- (1.1) 今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから
- (0.5) 購入した家などの不動産が値上がりしたから
- (0.5) 購入した株式や債券などの金融資産が値上がりしたから
- (0.5) 低金利で住宅ローンなどの返済額が減少したから
- (0.5) 予定していた住宅購入を諦めたから（あるいは当面延期したから）
- (28.5) 欲しい商品やサービスがあるから
- (67.7) たまたま大きな支出項目があったから
- (7.0) なんとなく

問8-b．支出を減らしているのはなぜですか。

(はいくつでも)

- (45.6) 不景気やリストラなどのために収入が頭打ちになったり、減ったりしているから
- (55.5) 将来の仕事や収入に不安があるから
- (60.3) 今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から
- (38.9) 将来、増税や社会保障負担の引き上げが行われるのではないかと不安から
- (6.2) 住宅ローンを抱える一方で、購入した家などの不動産が値下がりしたから
- (3.7) 購入した株式や債券などの金融資産が値下がりしたから
- (16.6) 低金利で金利収入が少ないから
- (6.6) 欲しい商品やサービスがあまりないから
- (4.7) たまたま大きな支出項目がなかったから
- (1.5) なんとなく

(全員にお聞きします)

問 9 . 問 8 の支出を、(1)生活費や教育費など日常的な支出(生活していくためのお金)と、(2)趣味やレジャーなど選択的な支出(1)以外のお金)の2つに分けてみると、どうですか。(1)と(2)それぞれについてお答えください。(はそれぞれ1つ)

	〔 1 〕 切り詰めて いる	〔 2 〕 なんとなく 減らして いる	〔 3 〕 変えて いない	〔 4 〕 やむなく 増えて いる	〔 5 〕 増やして いる
(1)生活費や教育費など日常的な支出 (生活していくためのお金)	27.0	28.8	31.8	11.6	0.6
(2)趣味やレジャーなど選択的な支出 (1)以外のお金)	34.5	33.8	26.0	3.7	1.7

問 10 . 今後 1 年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(は1つ)

(2.0)	(56.9)	(41.0)
増やそうと思う	現状を維持しようと思う	減らそうと思う

問 11 . あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。(はいいくつでも)

- (35.6) 所得税減税
- (32.6) 消費税率の引下げ
- (13.3) 住宅ローン、教育ローンなどがある人を対象とした政策減税
- (42.6) 雇用や収入の不安の解消
- (14.4) 金融システム不安の解消
- (36.4) 年金改革や財政赤字などに対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する
- (34.4) 公的介護など高齢者福祉の充実による老後の不安の解消
- (28.1) 預貯金金利の上昇
- (15.7) デフレの解消
- (2.7) その他
- (9.6) 支出を増やすつもりはない

問 12 . 支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。(○は2 つまで)

- (63.0) 基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う
- (42.0) 現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う
- (9.1) 商品やサービスの価格が、今後値上がりするか値下がりするかの予想によって、支出は変わると思う
- (3.6) 住宅等の不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う
- (3.8) 株式や投資信託などを持っているので、株価の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う
- (33.8) 税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う
- (11.9) 買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う
- (3.5) 似たような新商品が次々に登場したり、短期間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う

問 13 . 物価についてお聞きします。

1 年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。(は 1 つ)

(3.2)	(25.4)	(54.6)	(14.9)	(1.8)
かなり 下がっている	少し 下がっている	ほとんど 変わっていない	少し 上がっている	かなり 上がっている

↓

→ (問 14 へ)

問 13-a . 物価が下がっていることについて、あなたはどのように思いますか。(は 1 つ)

(40.9)	(18.7)	(39.9)
どちらかと言えば、 好ましいことだと思う	どちらかと言えば、 困ったことだと思う	どちらとも言えない

(全員にお聞きします)

問 14 . あなたは、問 13 で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。

(は 3 つまで)

(69.3) 食料品の値段	(25.1) 電気、ガス、水道料金などの公共料金
(42.3) 日用品の値段	(8.5) 住宅の建設・修繕費や家賃
(29.9) 衣料品の値段	(8.2) 旅行やレジャーの値段
(11.9) 外食の値段	(25.1) 病院の診察費や薬の値段
(17.4) 電気製品、自動車などの耐久消費財の値段	(4.4) 学校や教育サービスの値段
(9.0) 交通機関の運賃	(1.7) その他

問 15 . 1 年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(は 1 つ)

(0.3)	(6.2)	(66.6)	(25.2)	(1.5)
かなり 下がると思う	少し 下がると思う	ほとんど 変わらないと思う	少し 上がると思う	かなり 上がると思う

問 16 . 今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。(は 1 つ)

(11.6) 以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う
(43.2) 現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う
(13.6) 依然として高いので、まだ下がると思う
(31.4) わからない

問 17 . あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1 年前と比較してどのようにお感じになっていましたか。(は1つ)

(5.1)
どちらかと言えば、
ゆとりが出てきたと思う



(50.9)
どちらかと言えば、
苦しくなってきたと思う



(43.9)
どちらとも言えない
→(問 18 へ)

問 17-a . その理由は次のうちどれですか。
(はいくつでも)

- (55.3)給与などの定期的な収入が増えたから
- (2.0)利子などのその他収入が増えたから
- (2.6)土地・住宅などの不動産の売却による収入があったから
- (2.0)予定していた住宅購入を諦めたから
(または当面延期したから)
- (13.8)物価が下がっている、あるいは、安定しているから
- (3.3)保有する株式・不動産などの資産の価格が上がったから
- (31.6)扶養家族が減ったから
- (15.1)その他

問 17-b . その理由は次のうちどれですか。
(はいくつでも)

- (75.6)給与などの定期的な収入が減ったから
- (20.6)利子などのその他収入が減ったから
- (6.3)土地・住宅などの不動産の購入費用がかさんだから(または購入を予定しているから)
- (14.0)物価が上がっているから
- (6.0)保有する株式・不動産などの資産の価格が下がったから
- (10.4)扶養家族が増えたから
- (18.1)その他

(全員にお聞きします)

問 18 . あなたは、日本の経済の成長力について、どうお考えですか。(は1つ)

(18.2)
一時的な振れはあっても、
長い目でみれば、なお成長を
続けられると思う

(50.2)
長い目でみればあまり
成長は期待できないと思う

(31.6)
どちらとも言えない

問 19 . あなた（またはご家族）のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ 1 年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。（ は 1 つ）

(34.2)	(10.1)	(22.8)	(32.0)
行われた	まだ行われていないが、 今後行われる予定である	行われていないし、今後 行われる予定もないと思う	わからない
↓		→(問 20 へ)	

問 19-a . 具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。（ はいくつでも）

- (36.9) 時間外労働の削減
- (66.5) 給与カットや賃金制度の見直し
- (21.4) 新卒採用の抑制
- (34.4) 出向や早期退職勧奨などによる人員の削減や解雇
- (18.1) ポストの削減や組織の改革
- (17.4) 人事、資格制度の見直し
- (4.2) ワークシェアリング
- (6.1) その他
- (2.2) 予定されているが、具体的にはわからない

（全員にお聞きします）

問 20 . あなた（またはご家族）の勤め先での雇用・処遇（給与、ポスト、福利厚生など）に不安を感じていますか。（ は 1 つ）

(13.8)	(44.7)	(27.3)	(13.8)
あまり不安を 感じていない	少し不安を 感じている	かなり不安を 感じている	自分も家族も 関係ない

問 21 . あなたのご家族の中で、就職・再就職を考えている方は（あなた自身を含めて）いらっしゃいますか。（ は 1 つ）

(33.8)	(66.0)
い る	い ない
↓	→(問 22 へ)

問 21-a . あなた（またはその方）の就職・再就職に不安を感じていますか。（ は 1 つ）

(6.2)	(34.2)	(59.7)
あまり不安を 感じていない	少し不安を 感じている	かなり不安を 感じている

(全員にお聞きします)

問 22 . マイホームの購入・買い替えを具体的に計画していますか。(は1つ)

(93.5)	(3.3)	(2.6)	(0.5)
いまのところ購入・ 買い替えの計画はない	はじめてマイホームを 購入する計画がある	買い替えの計画が ある	セカンドハウスを 購入する計画がある

問 23 . あなたには、住宅ローンや消費者ローンなどの借入金がありますか。(は1つ)

(34.7)	(65.0)
あ る	な い

問 24 . 次の(1)～(23)の項目は、日本銀行の政策や業務等について述べたものです。あなたにとって、もっともあてはまると思われる番号に を付けて下さい。(はそれぞれ1つ)

		〔 1 〕 よく 知っ てい る	〔 2 〕 ある 程度 知っ てい る	〔 3 〕 聞い たこ とは ある が、 内容 はよ く知 らな い	〔 4 〕 聞い たこ とが ない
(1)	日本銀行は、一万円札などの日本銀行券（お札）を発行している。	55.4	23.2	14.9	6.3
(2)	来年、新しいお札が発行される。	32.7	24.5	19.7	22.9
(3)	日本銀行は、民間銀行等の金融機関から預金を受け入れている。	15.8	21.9	31.6	30.4
(4)	民間銀行などの金融機関は、日本銀行に持つ口座で、銀行間のお金のやり取りを行っている。	11.6	18.1	32.8	37.1
(5)	日本銀行は、資金の受払いや国債の受渡しをオンライン処理により効率的かつ安全に行うための日銀ネット（コンピューター・ネットワーク）を運行している。	4.3	9.5	32.0	53.8
(6)	日本銀行は、国（政府）の資金である国庫金に関する業務を行っている。	14.4	25.5	37.8	21.9
(7)	日本銀行は、国債に関するさまざまな業務を行っている。	14.7	24.9	38.7	21.4
(8)	日本銀行は、金利ではなくお金の量（金融機関が日本銀行に持つ預金残高）に目標を定めた金融政策を実施している。	8.4	14.9	31.7	44.7
(9)	日本銀行は、銀行などの金融機関から国債を買って資金を大量に供給している。	6.6	14.9	32.1	46.0
(10)	日本銀行では、中堅・中小企業金融の円滑化を図るため、資産担保証券を購入することを決めた。	2.1	4.8	22.8	69.9
(11)	公定歩合の上げ下げは、金融政策の主な手段ではなくなっている。	5.0	14.4	32.9	47.4

【問 24 . の続き】

		〔 1 〕 よく知っている	〔 2 〕 ある程度 知っている	〔 3 〕 聞いたことはあるが、 内容はよく知らない	〔 4 〕 聞いたことがない
(12)	日本銀行は、金融機関の経営状況を把握するために、各金融機関と密接に連絡をとりあったり、立ち入り調査を行ったりしている。	7.7	16.3	34.8	40.7
(13)	日本銀行は、金融システムの安定のために、最後の貸し手として、銀行などの金融機関に資金を貸し付けることがある。	9.9	19.0	37.3	33.5
(14)	日本銀行は、短期経済観測調査（短観）を実施するなど、金融経済情勢の調査・分析を行っている。	11.1	15.8	29.3	43.3
(15)	日本銀行は、金融や経済の理論的研究を行っている。	7.0	12.8	29.8	49.9
(16)	日本銀行は、お金の量を示す統計や物価に関する統計を作成・公表している。	8.8	15.7	34.2	40.9
(17)	日本銀行は、財務大臣の代理人として外国為替市場への介入を行っている。	10.3	14.6	30.9	44.0
(18)	日本銀行は、海外の中央銀行や国際機関との間で、各種の国際金融事務を行っている。	6.5	12.0	34.9	46.3
(19)	日本銀行の収益のほとんどは、国に納められる。	7.0	12.7	31.6	48.4
(20)	日本銀行は、政府から独立した組織である。	12.6	17.0	28.5	41.6
(21)	日本銀行の重要な事項は「政策委員会」で決定される。	5.4	8.8	25.9	59.5
(22)	日本銀行の目的は、「物価の安定」と「金融システムの安定」である。	9.8	20.4	31.5	38.0
(23)	日本銀行には、全国に支店がある。	19.0	19.9	20.2	40.6

問 25 . 日本銀行について、以下の 5 組 ((1) ~ (5)) の対照的な考え方があります。あなたの考えは、それぞれについて A、B どちらに近いですか。(はそれぞれ 1 つ)

		[1] A に近い	[2] どちらか A に近い と言えば	[3] どちらとも 言えない	[4] どちらか B に近い と言えば	[5] B に近い	
	A						B
(1)	日本銀行の政策や業務についてよく知っている。	2.3	10.9	19.5	28.0	38.9	日本銀行の政策や業務についてほとんど知らない。
(2)	日本銀行は、私たちの生活に関係がある。	17.8	30.9	28.1	13.3	9.4	日本銀行は、私たちの生活に関係がない。
(3)	日本銀行は、私たちの生活に役立っている。	8.9	23.3	45.3	12.3	9.7	日本銀行は、私たちの生活に役立っていない。
(4)	日本銀行の外部に対する説明は、わかりやすい。	0.6	2.8	28.5	28.2	39.5	日本銀行の外部に対する説明は、わかりにくい。
(5)	日本銀行を信頼している。	9.7	18.2	52.8	10.4	8.4	日本銀行を信頼していない。

問26 . あなたが日本銀行に関する情報を見聞きするのは、主にどのような情報媒体からですか。

(はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| (64.5) 新聞記事 | (3.4) インターネット |
| (9.7) 雑誌記事 | (1.2) 日本銀行のインターネット・ホームページ |
| (71.3) テレビ・ラジオ報道 | (13.1) 有識者・政財界人の発言 |
| (2.4) 一般の書籍 | (5.4) 知人や親類などの話 |
| (1.3) 日本銀行が発行している刊行物 | (13.6) ほとんど見聞きしたことがない |

問 27 . 日本銀行の政策や活動に関して、ご意見やご要望などがありましたら、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

(記入欄)

(11.1) 記入あり (88.9) 記入なし

(全員にお聞きします)

F 1 . あなたの性別は。

(49.0)
男

(51.0)
女

F 2 . あなたの年齢は。(満年齢でお答えください)

(12.6)
20～29 歳

(15.8)
30～39 歳

(18.4)
40～49 歳

(22.5)
50～59 歳

(17.2)
60～69 歳

(13.5)
70 歳以上

F 3 . 結婚していらっしゃいますか。

(73.6)
既婚(配偶者あり)

(10.2)
既婚(配偶者と離別・死別)

(15.9)
未婚

F 4 . あなたのご職業は。(は1つ)

自
営
業
・
家
族
従
業
者

{ (3.9) 農林漁業
(9.0) 商工・サービス業
(3.4) 自由業

勤
労
者

{ (5.5) 管理職
(8.4) 専門技術職・教員
(8.7) 事務職
(8.7) 労務職
(6.9) 販売・サービス職
(10.0) パート勤め

無
職
者

{ (14.7) 専業主婦
(1.5) 学生
(13.9) 年金・恩給生活者
(5.1) その他無職

(F 4 で、自営業者・家族従業者、勤労者、専業主婦 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 4 -a . あなたのお仕事あるいは勤め先の業種は何ですか。パート勤めの方は、あなたもしくは配偶者の中で主として生計を支えていらっしゃる方の業種について、専業主婦の方は、ご主人の勤め先の業種についてお答えください。(は1つ)

(5.9) 農林漁業

(5.4) 運輸・通信業

(3.2) 電気・ガス・水道業

(19.1) 製造業

(10.2) 建設・不動産業

(16.4) サービス業

(11.1) 卸・小売業、飲食店

(3.6) 金融・保険業

(8.9) 公務員

(14.2) その他

(全員にお聞きします)

F 5 . 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。

(夫婦で同じ程度という場合等は、「1 はい」に をつけてください。)

(53.7) はい

(45.9) いいえ

F 6 . あなた(および配偶者)の昨年1年間の収入(税込み)は、次のどの区分に入りますか。

(ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めてください。)

(は1つ)

(4.0) 収入はない

(11.3) 600～800 万円未満

(32.0) 300 万円未満

(5.1) 800～1,000 万円未満

(17.4) 300～400 万円未満

(3.6) 1,000～1,500 万円未満

(10.5) 400～500 万円未満

(1.3) 1,500 万円以上

(9.7) 500～600 万円未満

F 7.あなた（および配偶者）は収入（生活費）をどのようなかたちで得ていますか。
最も金額の多いものをお答えください。（ は1つ）

- | | |
|------------------------|-------------------|
| (64.4) 給料（賃金） | (0.1) 株式などの配当や運用益 |
| (7.6) 事業からの収益 | (1.0) 預金など貯蓄の取り崩し |
| (0.8) アパートなどの不動産からの賃貸料 | (1.4) 家族や国などからの援助 |
| (21.4) 年金 | (1.2) その他 |
| (0.0) 利子収入 | (1.5) 収入はない |

F 8.あなた（および配偶者）の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた
預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損
害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。（ は1つ）

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| (23.2) 貯蓄はない | (8.9) 1,000 万円～2,000 万円未満 |
| (39.5) 500 万円未満 | (7.7) 2,000 万円以上 |
| (14.1) 500 万円～1,000 万円未満 | |

F 9.あなた（および配偶者）の借入残高は、次のどの区分に入りますか。（ は1つ）
（注）クレジットカードを利用しての買い物や事業目的の借入は除きます。

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| (62.2) 借入金はない | (7.3) 1,000 万円～2,000 万円未満 |
| (15.0) 500 万円未満 | (5.0) 2,000 万円～5,000 万円未満 |
| (6.0) 500 万円～1,000 万円未満 | (0.7) 5,000 万円以上 |

F 10.現在一緒に住んでいるご家族の構成は。（ は1つ）

- (5.6) 1人住まい世帯
- (20.0) 夫婦だけ世帯
- (19.2) 夫婦（あなた）と未婚の子供（学生以下）の世帯
- (17.8) 夫婦（あなた）と未婚の子供（上記以外）の世帯
- (13.9) 親と未婚の子供（あなた）の世帯
- (1.9) 親（あなた）と既婚の子供の世帯
- (3.1) 親と既婚の子供（あなた）の世帯
- (3.8) 親（あなた）と子供と孫の世帯
- (6.5) 親と子供（あなた）と孫の世帯
- (7.8) その他

F 11.あなた（またはご家族）のお住まいは、次のどれにあたりますか。複数ある場合は、あなた自
身が生活の拠点としているお住まいについてお答えください。（ は1つ）

- | | |
|-----------------|---------------------|
| (72.2) 土地付き持ち家 | (5.1) 借家 |
| (4.9) 持ち家のマンション | (12.0) 賃貸マンション・アパート |
| (3.6) 借地持ち家 | (2.0) 社宅、官舎、寮 |